

課題名	16 豚舎の清浄化技術	分類	②
	(1) 豚舎消毒装置の利用状況		
試験研究年次	1～2年(完了)		
<p>I 目的</p> <p>県内養豚農家における畜舎消毒装置の利用状況を調査して、消毒装置の適正な利用法について検討し、慢性呼吸器系疾病の発生防止を図る。</p>			
<p>II 試験方法</p> <p>1 調査農家 県内の一貫経営養豚農家45戸。</p> <p>2 調査期間 2年 4月12日～ 9月30日。</p> <p>3 調査方法 家畜保健衛生所(中央、筑豊、両筑)による聞き取り調査。</p> <p>4 調査項目 飼養規模、消毒装置の利用状況及び効果等。</p>			
<p>III 主要成果の概要</p> <p>県内養豚農家における畜舎消毒装置の利用状況を調査し、その利用効果を明らかにした。</p> <p>1 消毒装置の設置状況は、未設置農家が25戸、設置農家が20戸で、大規模飼養農家の設置割合が高い。</p> <p>2 設置農家20戸のうち12戸がミクロンスプレーを、8戸がロータリースプレーを設置しており、消毒薬は逆性石鹼の使用が多く、85%の農家が使用している。夏と冬でそれぞれ消毒回数及び消毒時間を設定しており夏期は消毒回数を増やし消毒時間も冬期より長くしている。</p> <p>3 消毒装置導入によって得られた効果については、多くの農家が豚舎内塵埃量の低減、呼吸器病の減少及び発育性の向上を挙げている。ミクロンスプレーとロータリースプレーの比較では、呼吸器病の減少や発育性の向上等の面から後者の総合的評価の方が高い。</p>			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 調査農家の飼養規模及び消毒装置設置状況

飼養規模	調査	消毒装置設置	
	農家戸数	農家戸数	
頭	戸	戸	%
300未満	6	0	(0)
300~599	18	3	(17)
600~899	9	7	(78)
900以上	12	10	(83)
計	45	20	(44)

第2表 消毒装置の利用状況

ノズル 種類	農家 戸数	装置			消毒薬 逆性石鹼	消毒回数		消毒時間	
		馬力	自動	手動		夏	冬	夏	冬
	戸	PS	%	%	%	回/日		分/回	
マイクロスプレー	12	4.1	50	50	83	6.4	3.5	4.1	2.8
ロータリスプレー	8	4.5	37	63	88	4.9	3.5	6.4	3.7

第3表 消毒装置の導入によって得られた効果

項目	マイクロスプレー	ロータリスプレー
豚舎内塵埃量の低減	10/12	7/8
呼吸器病の減少	8/12	7/8
下痢の減少	2/12	2/8
育成率の向上	7/12	5/8
発育性の向上	7/12	6/8
総合判断	9/12	7/8

注) (効果の得られた農家) / (調査農家)

V 成果の評価と取扱上の留意点

豚舎の衛生環境改善対策として、消毒装置を利用する場合の参考資料となる。

VI. 今後の研究上の問題点

適正なノズルの種類及び消毒薬の種類、消毒薬量について検討する必要がある。

VII 資料名

2年度 福岡県農業総合試験場畜産研究所試験研究成績書